

平成30年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

|            |  |
|------------|--|
| (1) 学校教育目標 | 日進月歩の工業技術と変動する社会情勢に対応でき、且つ創造力豊かで知・徳・体の調和のとれた人間を育てる。  |
| (2) 現状と課題  | 生徒の対応や容儀面など基本的な生活習慣は優良である。工業の専門分野の技術・技能の習得は勿論であるが、その基本となる教科の基礎学力の定着を図るとともに、資格取得を奨励し学習環境を整備することが課題である。また、全校一体となった教育活動を実践するために全教職員との共通理解のもと、効果的な情報発信を研究していくことも課題と認識し取り組んでいる。                             |
| (3) 重点目標   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 当たり前のことが当たり前でできる人づくり</li> <li>2 高度な技術・技能を身につけた人づくり</li> <li>3 正しい勤労観・職業観を身につけた人づくり</li> <li>4 地域に信頼され、地域の子供たちに魅力ある学校づくり</li> <li>5 確かな学力を育成する授業づくり</li> </ol> |
| (4) 結果の公表  | 学校ホームページで公表する。   |

|        |                |
|--------|----------------|
| 学校整理番号 | 48             |
| 学校名    | 青森県立五所川原工業高等学校 |
| 全日制の課程 | 校舎             |

|            |                |
|------------|----------------|
| 自己評価実施日    | 平成30年12月20日(木) |
| 学校関係者評価実施日 | 平成31年 2月 6日(水) |

|                    |    |
|--------------------|----|
| (9)-イ 学校関係者評価委員の構成 |    |
| 学校評議員              | 4名 |
| P T A 会長           | 1名 |
| P T A 学年部長         | 3名 |
| 計8名                |    |

| 自己評価    |   |   |  | 学校関係者評価    |  |   |
|---------|---|---|--|------------|--|---|
| 番号      | (5) 評価項目  | (6) 具体的方策   | (7) 具体的方策による目標の達成状況  | (8) 目標の達成度 | (9)-ア 学校関係者からの意見・要望・評価等  | (10) 次年度への課題と改善策  |
| 1       | 当たり前のことが当たり前でできる人づくり  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の備った生徒を育てるために、全教職員が一致協力して指導にあたる。</li> <li>・問題行動防止のための指導を行い、問題への対応も家庭との連携を密にするなどして取り組む。</li> <li>・部活動を通して心身を鍛え、自律心や礼儀、責任感や協調性といった社会人として必要な態度の育成を図る。</li> <li>・ボランティア活動を通して、社会とのつながりを大切にし、豊かな心を育成する。</li> <li>・学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止を図るとともに生徒が自己肯定感や自己有用感を育み、仲間と一緒に人間関係を築く力を育成する。</li> <li>・心身の健康を損なうことのないよう業務の効率化を図り限られた時間の中で生徒と接する時間を十分に確保し、生徒と真摯に総合的指導を継続的に行うことのできる体制作り出す。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員一致団結して、日々の学校生活や進路指導、実習の進捗指導で授業内容などの指導にあたり、生徒も、正しい容儀、挨拶、礼儀がでている。</li> <li>・生徒がスマートフォン・携帯や動画見直し教室など様々な啓蒙活動を行い、未然防止が図れている。</li> <li>・運動部、文化部とも活発に活動している。</li> <li>・全校ボランティア活動やいじめ防止講座を実施し、訪問先産地や地域住民とのふれあいを通じて社会とのつながりが豊かになることを育ませたとともに、生徒が積極的に関わり合っている。</li> <li>・いじめアンケートや情報交換会を実施し、未然防止が図れている。また、心身に問題を抱えている生徒を把握し、スクールカウンセラーによる面談を定期的に行い、情報共有が図れている。</li> <li>・生徒と向き合う時間を作るために業務の適正化を図り総合的指導を継続的に行うことができた。</li> </ul>     | A          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方ご自身の健康を損なうことのない働き方を今後もしていただきたい。</li> <li>・昨年度の学校関係者評価委員会結果を反映し、改善した結果が出ている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続して全教職員で指導にあたり、基本的な生活習慣の確立を目指していく。</li> <li>・今後も様々な問題行動に迅速に対応でき、発生した場合は早期発見早期対応のため全教職員で情報を共有し、指導にあたる。</li> <li>・今後も活動が活発な学校ホームページ等を活用し発信する。また、部活動を通して社会人として必要な資質、態度の育成ができるよう我々教職員が支援していく。</li> <li>・来年度も生徒の積極的な取り組みを促すよう、必要な指導を行う。また、地域社会の一員であることを意識させ、豊かな心の育成を図る。</li> <li>・いじめの未然防止と早期対応、早期対応の仕組み、あらゆる機会を通して生徒、保護者と連携してもらい、また、いじめ防止の具体的な取り組みを生徒が活動を通して実践できるように今後画していく。</li> <li>・業務負担に偏りがあると感じている職員もいるので、来年度は今以上に全教職員協力体制のもと各業務を遂行し、生徒と向き合う時間を確保するとともに先生方の心身の健康を損なうことのないようリフレッシュを図る工夫をしていく必要がある。</li> </ul> |
| 2       | 高度な技術・技能を身につけた人づくり  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に資格取得、検定試験のための情報提供、学習支援を行う。</li> <li>・ロボットコンテストなどのづくりコンテスト等に積極的に挑戦させる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度のジュニアマイスター顕彰3名(ゴールド17名、シルバー15名)受賞予定である。特に危機対応者種全英顕彰者6名、電気科では第二種電気工事士取得率97%、情報科科では基本情報技術者試験合格1名と成果をあげている。</li> <li>・ロボットコンテスト県大会以外校会場で計4回、電子機械科では全国大会に出場することができた。情報科科では、ものづくりコンテスト電子回路部部門で優勝し、青森県代表として来年度東大会に出場する。</li> </ul>  | B          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒も教師も頑張っているが、部活動と資格取得に関する活動の両立が難しい点もある。</li> <li>・校外活動部活動発表の様子を見て素晴らしい学校である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も資格取得の徹底とその支援をして、国家資格の取得者を増やし、生徒一人一人に自信を持たせていく指導をする。</li> <li>・引き続き、ものづくりコンテストのための指導を行い、全国大会への出場を目指していく。またロボット競技等の情報大会や大会発表をWEB中継などで発信できるようにする。</li> </ul>  |
| 3       | 正しい勤労観・職業観を身につけた人づくり  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業体験、職場見学等を通じて、生徒も正しい勤労観、職業観を身につけさせる。</li> <li>・進路相談、ガイダンスを適宜計画し、進路、就職に関する意識を高揚させる。</li> <li>・保護者との連携を密にし、保護者に対する進路面談を行うなど、家庭と一体となった進路指導を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップを通して望ましい勤労観、職業観の育成を図っている。</li> <li>・学年ごとの進路ガイダンス、商工会議所による進路相談、中関根民局の進路相談会、SPI模擬テスト、クレバリー進路検査を実施するとともに、2年次から四者面談を行い、生徒の進路希望を考慮しながら企業情報と提供するなど、進路に関する意識の醸成を図っている。</li> <li>・学年、学科、進路指導部の連携して進路面談を実施することで、生徒の希望進路を達成させている。また、学年PTAの際には保護者向けの進路相談会を実施し、進路情報発信を行っている。</li> </ul>  | A          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路面談状況について高評価で打ばらしているが、平日の授業時間を利用しての講習も多くなり、働き方改革などで注意が必要である。</li> <li>・進路に関して、不足している科目を補う生徒の希望進路と真摯向き合ってくれていると感じる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も進路に関する見学会、インターンシップ継続して実施し、職業観、勤労観の育成を図っていく。</li> <li>・今後も外部と連携し、進路ガイダンス、企業説明、進路検査を実施し、進路意識の高揚を図るとともに、幅広い進路希望に応じることができるように学科、学年、教科、分科間の連携を強化していく必要がある。</li> <li>・今後も家庭、企業、校外機関と協力関係を密にし、教職員の企業訪問や研修の充実を図るとともに、適宜生徒との個人面談、保護者面談、四者面談を通じて、柔軟かつ適切な進路選択ができるよう指導していく。</li> </ul>   |
| 4       | 地域に信頼され、地域の子供たちに魅力ある学校づくり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の教育発表を公開し、地域社会や保護者との連携を強化する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開を2回実施し評判以上の来校者となった。また来校者3、5年生との交流学習を実施し、本校の教育活動を伝えるよい機会となった。さらに工祭の展示の他、五所川原産物祭へ出展し、地域の方々に本校を知ってもらうとともに、各種教育発表や部活動の結果を毎年学校ホームページアップし情報発信を行っている。</li> </ul>  | A          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・よい方向に向かっている。実習の様子を地域と関わる機会を確保しており、開かれた学校運営が実現できている。</li> <li>・産物祭での生徒の様子を見たとき、ブースに来てくれた地域の子供達のキラキラした目が印象に残っている。展示物の内容を創る生徒たちにとって、コミュニケーション能力を高める機会になるとともに、地域への関わりが深まっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も学校公開、交流学習、工祭を通して本校の教育活動、魅力を伝えるとともに、学校ホームページを活用し情報発信していく。</li> </ul>  |
| 5       | 確かな学力を育成する授業づくり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の工夫改善、教材研究の深化と教材の精選、組織的指導方法の更なる発展を図る。</li> <li>・研修の機会を捉え、教員自らのスキルアップを図る。</li> <li>・生徒に対して自己学習の時間をとらせる工夫をする。</li> <li>・生徒一人一人に応じて学習や課題などの個別指導を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多岐にわたる生徒と合わせた授業の工夫、アクティブラーニング学習などの発展を図るとともに、ものづくりと軸を軸とした教材開発を行い、その内容を学習で反映させるなど成果がでている。</li> <li>・先生方各自のスキルアップのため、校内外各種研究会、研修会等に積極的に参加している。また、校内外研修にも積極的に参加し、研究発表も行っており十分成果がでている。</li> <li>・基礎学力定着のため、学校全体では内テストを年7回実施している。内容・授業やSPI、一般常識と学年単位で問題が違ふ。また資格取得のための学習も継続で行われているようだが、それでもまだまだ基礎学習の時間不足の傾向が見られる。</li> <li>・進路目標達成のため、進路指導、公務員指導、就職SPI対策等、本校職員が制作したDVD教材等を活用し個別指導を実施した。また、成果報告も生徒に対しての学習進捗を調査し理解を促すよう指導した。</li> </ul> | B          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得を目指すことにより、張り切りすぎても心配になる。幅広い層である。息子の部活動と両立して頑張っているが、生徒の学習のペースが個人差が大きい。</li> <li>・指導工程が現れるが、評価の観点から見て目である。それは先生方の目標が明確、結果でわかる。</li> <li>・他の評価項目と比較すると進捗の遅れが大きいと感じている。それが気になった。実習も先生方による個別指導が受け、生徒それぞれコーチングまで行っている指導されていることがよくわかる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も授業の工夫改善、教材研究の深化と精選、組織的指導方法の発展を図る。</li> <li>・引き続き研修参加は積極的に行うが、工業分野に関する研修は世界での実践が多く、研修に参加しやすく体制づくりが必要である。</li> <li>・授業と部活動の両立を図れるように、部活動において学習の大切さをこれまで以上に指導していく。また、その日に必要な学習の振り返り指導と進路意識の向上を図る指導を徹底していく。</li> <li>・今後も引き続き、場内場外で個々の生徒と個別に合わせた適切な指導をしていく。</li> </ul>   |
| (11) 総括 | <p>今年度の結果から、本校の優先課題は、①基礎学力定着のため、授業の工夫改善、教材研究の深化と教材の精選、組織的指導方法の更なる発展を図るとともに、学業と部活動の両立が図られるように部活動においても学習の大切さを指導していく。②「開かれた学校づくり」を継続し地域社会や保護者との連携を発展させる。③資格取得の推奨と指導の徹底、ものづくり教育を活かした技術技能の指導を徹底していく。以上の3点であると総括する。</p> |   |  |            |  |   |

(様式1)